

EST by Scott Perry

1. ヒアリング向上の秘訣

下の5つのポイントを抑えていれば、ヒアリング能力が向上します：

1. 相手の目をきちんと見ましょう。英語がわかる人達は、相手の唇の動きを読むことを基本にしています。聞くときは、相手の口に注目しましょう。
2. ボディー・ランゲージを使いましょう。うなづいたりしながら、気持ちを顔で表現することは非常に良いことです。おかしかったり、おもしろかったりしたら微笑みましょう。悲しかったり、重大な事柄だったら真剣な表情をしましょう。もし、わからなかったら眉をひそめましょう、相手はその事柄を繰り返してくれたり、別の言い方で話してくれます。聞いているときは、他の事をしないようにしましょう。時計を見たり、ペンで遊んだり、紙をいじったりなどをしないということです。
3. 質問をしましょう。時折質問をすることはとても大切なことです。自分自身もよく理解できるようになり、また相手にも興味を持って聞いていることを示すことになります。時々自分の言葉で繰り返して言ってみましょう。たとえば、「では、あなたの言っている意味は、…ですね。」とか、「あなたは、…と言っているのですね。」という風にです。こうすることで、自分で聞いたことを全部理解したと確認するのです。

ESTについて

ESTとは、鍵となる英単語の周波数と音を人間の発音とコンピュータによって生成された音の混合音に合わせることによって、開発されたリスニング・ツール(ヒアリング用教材)です。短期間繰り返しESTを聴くと子供のころから眠っていた一部のヒアリング力が目覚めます。ESTはネイティブの英語と日本語英語との違いや、似通った英語の発音の違いをも明らかにします。

ESTを聴くと、さまざまな層の音とトーンに気づくはずですが、さらにはいくつかの日本語と聞きなれた音さえ聞こえるでしょう。これは、学習者を集中して取り組ませ、ヒアリング能力を発達させるために意図的になされたものです。聞こえる英語のみに集中し日本語の音を遮断するようにしてください。

ESTは、日本に住んでいたときにはまったく触れなかったであろうさまざまな英語の発音に焦点を当てています。英語に存在し日本語には存在しない10の母音と、速く話すときに生まれるさまざまな発音を重視しています。毎日2週間ほどESTを聴いてみてください。その後サブタイトルなしで洋画を見て自分をテストしてみてください。聴解範囲が広がり、もっとよく内容を理解することができるようになります。

注釈: ESTで使われている周波数は56Hzか 数千Hzの範囲です。音が大き過ぎたら、音量を調節してください。ESTの内容は何年もの研究と経験に基づいています。ESTは日本語がネイティブの人用に設計されました。

EST by Scott Perry

How Should I use EST?

Listen to the entire EST series at least 4 times. Follow with the book so you know what you should be listening for. If you cannot locate the book contact me again. Use a good set of headphones when you listen. Try to cover 15 minutes each time. If you listen while driving you should only be trying to repeat what you hear. In order to get the value of EST you must use headphones so you can hear the low frequencies and high ones.

After you have listen to all 3 CD twice, start trying to repeat what you hear. Try to say exactly as you hear it.

Listen the following section 4 to 5 times over the first month then 2 to 3 times in the second month. After you have practiced listening to English on TV and in social groups you will notice how much more you are able to recognize and how different both the right and wrong sounds sound.

L= Just listen

LR = Listen and Repeat

CD 1

- 2. L
- 4. L
- 5. LR
- 6. LR
- 9. L
- 10. LR
- 13. LR
- 14. L

CD 2

- 4. L
- 5. LR
- 6. LR
- 10. LR
- 12. LR

CD 3

- 7 LR
- 9 LR
- 10 LR
- 14 L